

DENON

DA-300USB

D/Aコンバーター

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。詳しくは「保証と修理について」(P.30ページ)をご覧ください。

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露（つゆつき）について	4
付属品	5
特長	6
高音質	6
多彩な機能	6

各部の名前

フロントパネル	7
ディスプレイ	8
リアパネル	9

接続のしかた

本機を設置する	11
横向きに設置する	11
縦向きに設置する	12
機器を接続する	13
ACアダプターを接続する	14

再生のしかた

操作のしかた	16
電源を入れる	16
入力ソースを切り替える	16
ヘッドホンの音量を調節する	16
パソコンと接続して再生する（USB-DAC）	17
デジタル機器と接続して再生する （COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2）	23

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する	24
オートスタンバイモードをオンにする	24
オートスタンバイモードをオフにする	24

困ったときは

目次	25
こんなときの解決方法	26
故障かな？と思ったら	27
保証と修理について	30

付録

再生できるデジタル音声入力信号の種類	31
USB-DACで再生できる入力信号	31
COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2で 再生できる入力信号	31
用語の解説	32
主な仕様	33
索引	34

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところへ移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となる場合があります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ステレオ音のエチケット

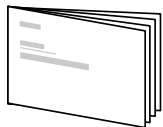


- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

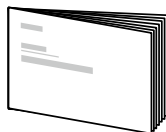
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

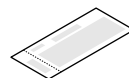
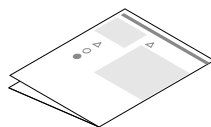
① 簡単セットアップガイド



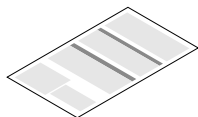
② 取扱説明書（本書）



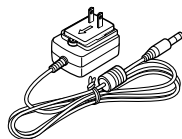
③ 安全にお使いいただくために ④ 保証書



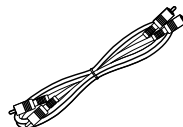
⑤ 製品のご相談と
修理・サービス窓口のご案内



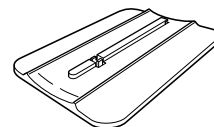
⑥ ACアダプター（本機専用）



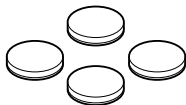
⑦ 音声ケーブル



⑧ 縦置き用スタンド



⑨ 横置き用フット（4個）



特長

高音質

- **Advanced AL32 Processingと高精度32bit D/Aコンバーター**

デノン独自のアナログ波形再現技術Advanced AL32 Processingを搭載しています。16bitのデジタルデータを32bitに拡張することで微小信号の再現性を高めました。また、Advanced AL32 Processingで拡張したデジタルデータをアナログ信号に変換するために、192kHz/32bitに対応した高性能D/Aコンバーターを採用しています。

- **アイソレーション設計**

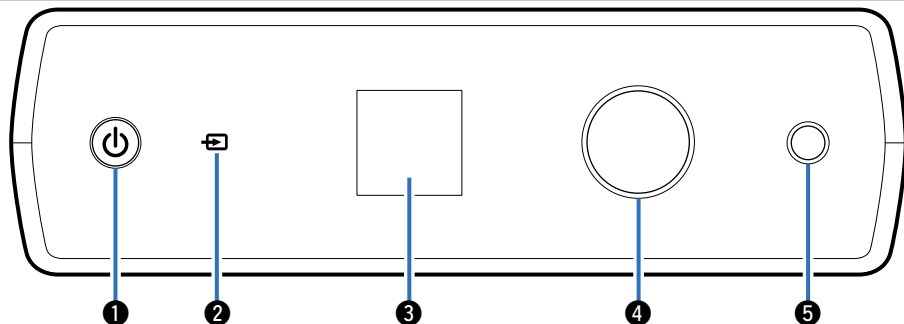
本機をパソコンなどの外部機器と接続したとき、本機に外部機器のノイズが流入して音質が低下しないように、USB入力インターフェースデバイスのグランド回路をオーディオ回路から分離しています。

多彩な機能

- **ハイレゾリレーションオーディオファイルの再生に対応**
DSD信号や、192kHz/24bitまでのPCM信号をサポートしています。パソコンに保存しているDSD信号やPCM信号の音楽ファイルをUSB接続で本機に入力して、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。
- **ヘッドホンアンプを搭載**
高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載しています。ヘッドホンで音楽を聴く場合にも高音質でお楽しみいただけます。
- **縦置きに対応**
本機は縦置きと横置きのどちらにも対応しています。設置方向に合わせて、ディスプレイが自動的に回転します。
- **視認性の高い有機ELディスプレイ搭載**
- **電力消費をおさえるオートスタンバイ機能搭載**
([P.24ページ](#))

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン/表示 (㏻)

電源をオン/スタンバイします (P.16ページ)。
電源の状態によって、次のように点灯します。

- ・電源オン時：点灯
- ・スタンバイ時：消灯

② 入力ソース切り替えスイッチ (⏏)

入力ソースを切り替えます
(P.16、P.22、P.23ページ)。

③ ディスプレイ

各種情報を表示します (P.8ページ)。

④ ヘッドホン音量調節つまみ

ヘッドホンの音量を調節します (P.16ページ)。

- ・ヘッドホンを接続したり音量を調節しても、アナログ音声出力端子からの音量は変わりません。

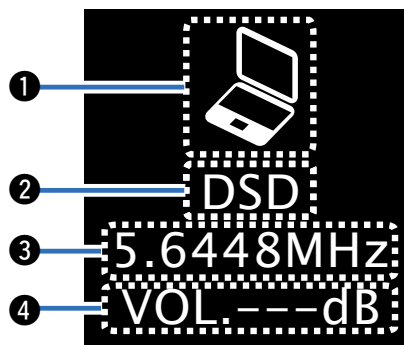
⑤ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

ご注意

- ・ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディスプレイ



① 入力ソース表示

選択している入力ソースによって、次のように表示します。

USB-DAC	COAXIAL	OPTICAL-1	OPTICAL-2
			

② 入力信号フォーマット表示

入力している音声信号のフォーマットを表示します。

③ サンプリング周波数表示

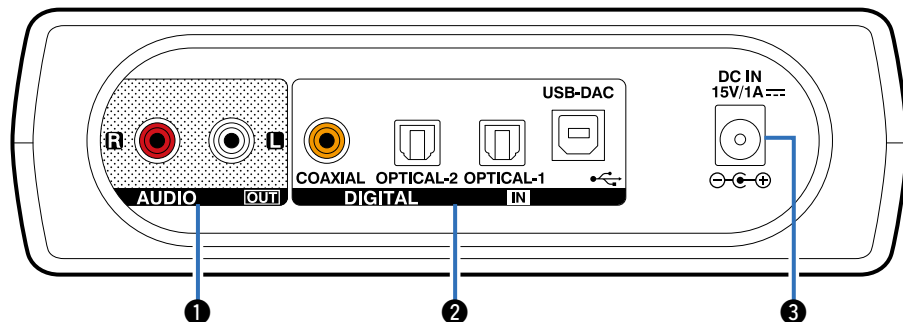
入力している音声信号のサンプリング周波数を表示します。

④ ヘッドホン音量表示

ヘッドホンの音量レベルを表示します。

- お買い上げ時の音量レベルは “---dB” （ミュート状態）です。

リアパネル



① アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT)

アンプを接続します (☞ 13ページ)。

② デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

パソコンやデジタル音声出力端子付きの機器を接続します (☞ 13ページ)。

③ ACアダプター入力端子 (DC IN)

ACアダプターを接続します (☞ 14ページ)。

接続のしかた

本機を設置する (🔗 11ページ)

機器を接続する (🔗 13ページ)

ACアダプターを接続する (🔗 14ページ)

ご注意

- すべての接続が終わるまでACアダプターをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、ACアダプターのコードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

音声ケーブル
(付属)



光伝送ケーブル
(別売り)



同軸デジタルケーブル
(別売り)



USBケーブル
(別売り)

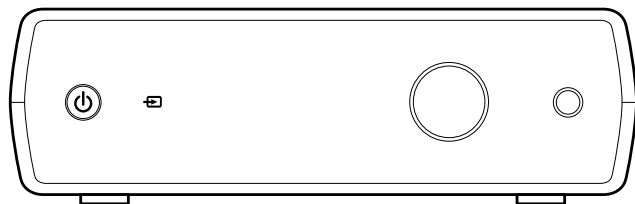


本機を設置する

設置場所やお好みに合わせて設置してください。

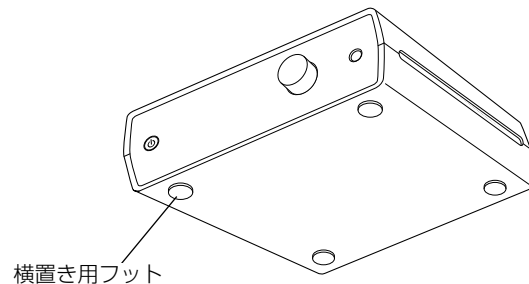
横向きに設置する

本機を横向きに設置するときは、付属の横置き用フットを底面に貼り付けて設置してください。



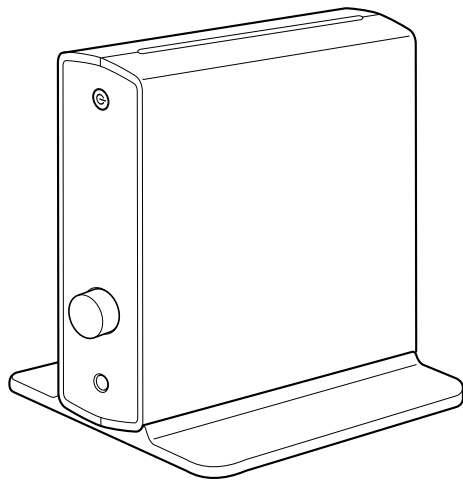
■ 横置き用フットの貼り付けかた

次のように横置き用フットを貼り付けてください。



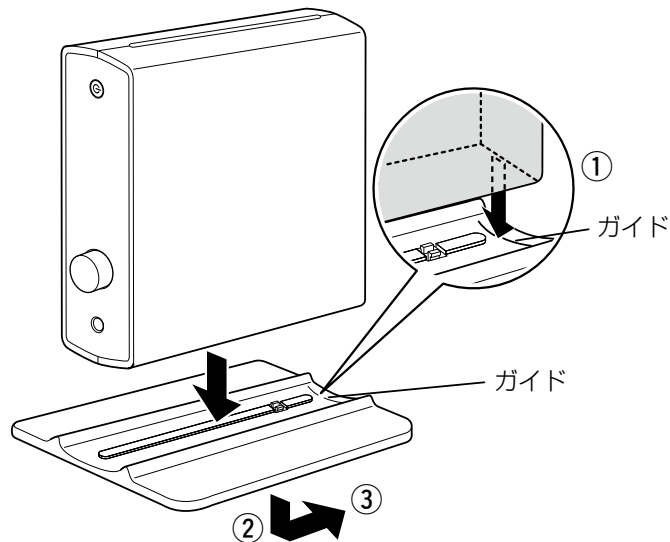
縦向きに設置する

本機を縦向きに設置する場合は、電源ボタンを上側にして、縦置き用スタンドを取り付けて設置してください。



■ 縦置き用スタンドの取り付けかた

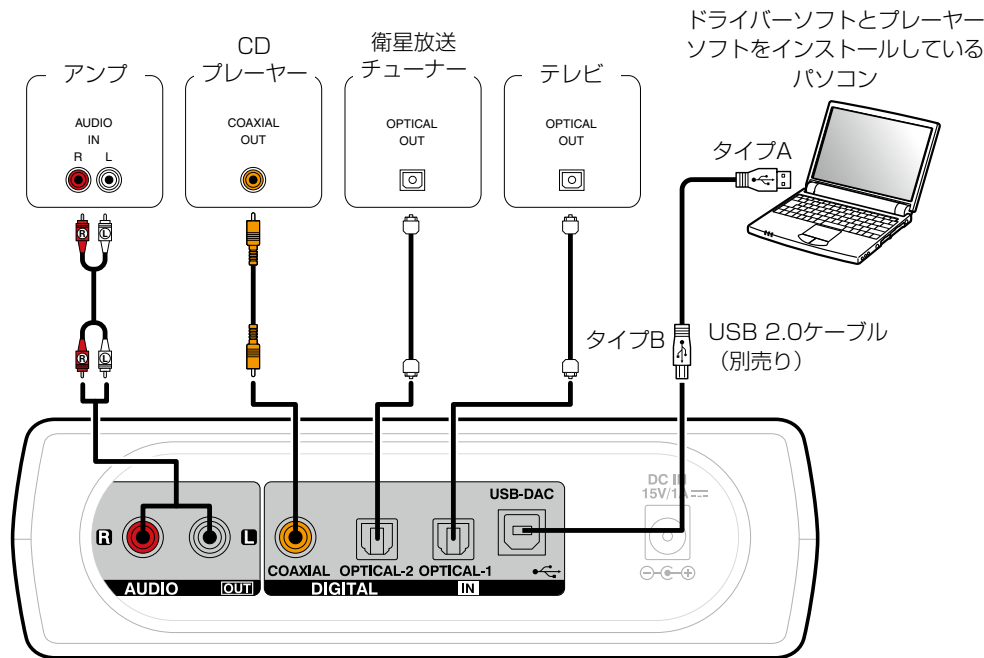
- ① ガイドの位置に背面のふちを合わせる。
- ② スタンドにパチンと音がするまで押し込む。
- ③ 矢印の方向にスライドして、スタンドのふちと本機のふちを合わせる。



- スタンドを取り外す場合は、取り付けかたと逆の手順で本機からスタンドを取り外してください。

機器を接続する

- USB-DAC再生をおこなう場合は、接続の前にご使用のパソコンに専用ドライバーソフトとプレーヤーソフトをインストールしてください（「専用ドライバーソフトのインストール（Windows OSのみ）」（[P.17ページ](#)））。
- 専用ドライバーソフトは、当社ウェブサイトのDA-300USBのページからダウンロードしてください。

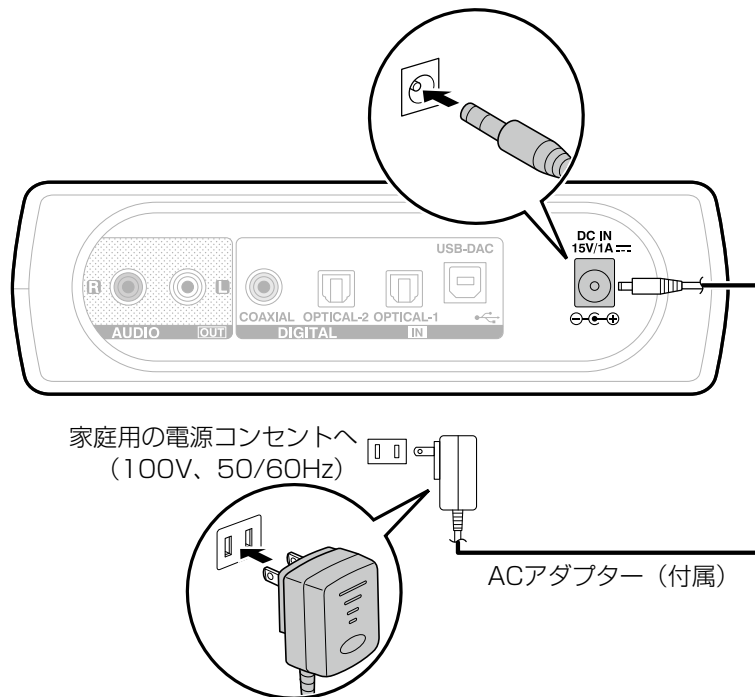


ご注意

- パソコンとの接続には、3m以下のケーブルをご使用ください。

ACアダプターを接続する

すべての接続が完了したら、ACアダプターをコンセントに差し込みます。



ご注意

- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。

再生のしかた

電源を入れる (🔍 16ページ)

入力ソースを切り替える (🔍 16ページ)

ヘッドホンの音量を調節する (🔍 16ページ)

パソコンと接続して再生する (USB-DAC)
(🔍 17ページ)

デジタル機器と接続して再生する (COAXIAL/
OPTICAL-1/OPTICAL-2) (🔍 23ページ)

操作のしかた



電源を入れる

- 1 電源ボタンを押して、電源を入れる。
電源表示が点灯します。

■ 電源をスタンバイにする

- 1 電源ボタンを押す。
電源表示が消灯します。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

入力ソースを切り替える

- 1 入力ソースボタンをタッチして、再生する入力ソースを切り替える。

USB-DAC：パソコンの音楽ファイルを再生します。

COAXIAL：COAXIAL端子に接続した機器を再生します。

OPTICAL-1：

OPTICAL-1端子に接続した機器を再生します。

OPTICAL-2：

OPTICAL-2端子に接続した機器を再生します。

ヘッドホンの音量を調節する

- 1 ヘッドホン音量調節つまみを回して、音量を調節する。
ディスプレイに音量レベルを表示します。

パソコンと接続して再生する (USB-DAC)

パソコンに保存しているDSD信号やPCM信号の音楽ファイルをUSB接続で本機に入力して、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを接続する前に、ご使用のパソコンにドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OSをご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには、ハイレゾリレーション音源の再生に対応した市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン（推奨システム）

OS

- Windows® Vista、Windows 7およびWindows 8
- Mac OS X 10.6.3以降

USB

- USB 2.0：USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

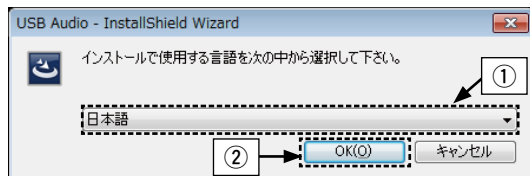
■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OSのみ)

□ ドライバーソフトのインストールのしかた

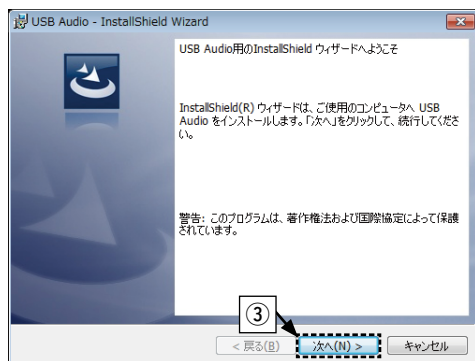
- 1 本機とパソコンのUSB接続を外す。**
 - 本機とパソコンをUSB接続していると、ドライバーソフトを正しくインストールできません。USB接続した状態でパソコンを立ち上げた場合は、USB接続を外してからパソコンを再起動してください。
- 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイトDA-300USBのページの“ダウンロード”からドライバーソフトをダウンロードする。**
- 3 ダウンロードファイルを解凍する。**
- 4 ご使用のパソコンに合わせて32bit版または64bit版のexeファイルを選び、ダブルクリックする。**

5 ドライバーソフトをインストールする。

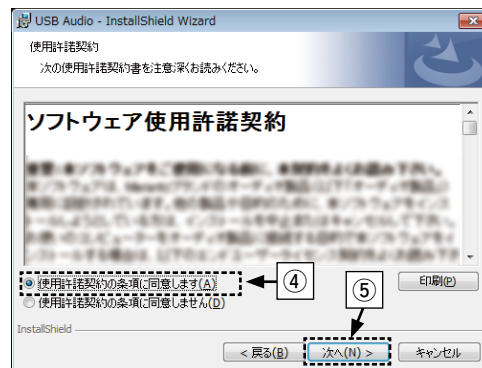
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK(O)” をクリックする。



- ③ ウィザードメニューが表示されたら、“次へ(N)” をクリックする。



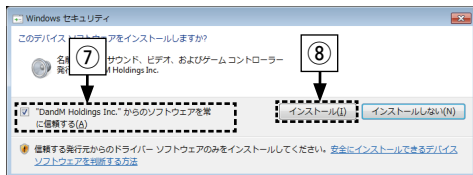
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約の条項に同意します(A)” を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)” をクリックする。



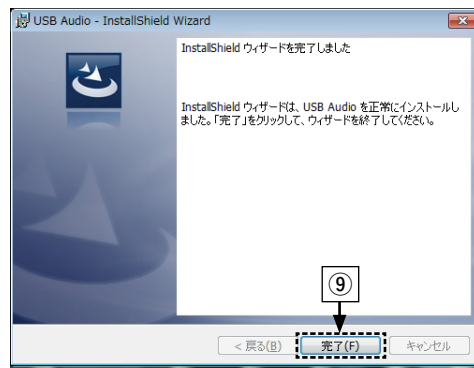
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール(I)”をクリックする。
- ・インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑦ Windowsセキュリティダイアログの“"DandM Holdings Inc."からのソフトウェアを常に信頼する(A)”を選ぶ。
- ⑧ “インストール(I)”をクリックする。



- ⑨ インストール終了画面が表示されたら“完了(F)”をクリックする。



- 6 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンをUSBケーブル（別売り）で接続する。
- ・接続のしかたは、「機器を接続する」(P.13ページ)をご覧ください。
- 7 本機の  を押す。
- ・本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。
- 8  をタッチして、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

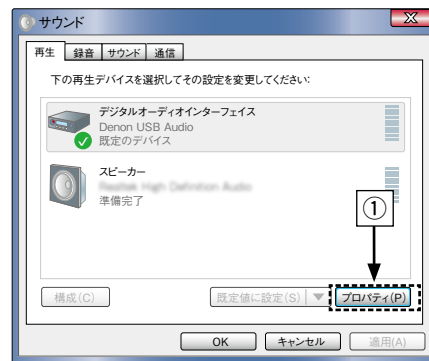
9 インストールしたドライバーソフトを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“デジタルオーディオインターフェイス”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“Denon USB Audio”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

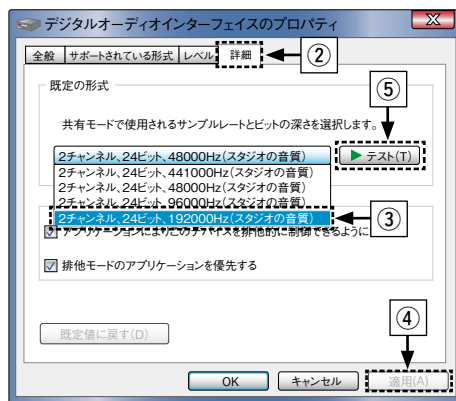
10 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して、USB-DAC機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“デジタルオーディオインターフェイス”を選び、“プロパティ”をクリックする。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “24ビット、192000 Hz（スタジオの音質）” に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が入力されることを確認します。



ご注意

- ドライバースoftwareは、パソコンと本機をUSB接続する前にインストールしてください。ドライバースoftwareのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

■再生のしかた

- あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。
- 本機のリアパネルのUSB-DAC端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは、「機器を接続する」(P.13ページ)をご覧ください。

1 電源ボタンをタッチして、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

2 パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめると、入力しているデジタル音声信号を、ディスプレイに次のように表示します。

“PCM “DSD
xxxxxxkHz” または xxxxxMHz”

(xxxxxxはサンプリング周波数をあらわします。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■再生できるファイルについて

「USB-DACで再生できる入力信号」(P.31ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。
- パソコンで、音量およびイコライザーの調節もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンのプレーヤーソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、プレーヤーソフトがフリーズすることがあります。必ずプレーヤーソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- プレーヤーソフトのサンプリング周波数表示と、本機のサンプリング周波数表示が異なる場合があります。
- パソコンとの接続には3m以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2)

1 本機にデジタル機器を接続する（[図13ページ](#)）。

2  をタッチして、入力ソースを“COAXIAL”、“OPTICAL-1”または“OPTICAL-2”に切り替える。

入力しているデジタル音声信号を、ディスプレイに次のように表示します。

“PCM
xxxxxxkHz”

（xxxxxxはサンプリング周波数をあらわします。）

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■再生できるファイルについて

「COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2で再生できる入力信号」（[図31ページ](#)）をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AACなどのリニアPCM以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS放送のAモードからBモードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2秒程度音が途切れることがあります。

設定のしかた

オートスタンバイモードを設定する

音声の入力がない状態で本機を約30分間操作しないとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定できます。

お買い上げ時はオフに設定しています。



オートスタンバイモードをオンにする

- 1 電源ボタンを5秒以上押す。
ディスプレイに“Auto Standby On”を表示します。

オートスタンバイモードをオフにする

- 1 電源ボタンを5秒以上押す。
ディスプレイに“Auto Standby Off”を表示します。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法..... (26)	■ 故障かな？と思ったら..... (27)
テレビの音声を本機と接続したアンプで再生したい..... (26)	電源が入らない/電源が切れる..... (27)
テレビのヘッドホン端子の音質に満足できない..... (26)	音がまったく出ない..... (28)
電力の消費をおさえたい..... (26)	音が途切れたり、ノイズが入ったりする..... (28)
	パソコン内のファイルを再生できない..... (29)
	デジタル機器の音声を再生できない (COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2)..... (29)
	入力ソースが切り替わらない..... (29)

こんなときの解決方法

テレビの音声を本機と接続したアンプで再生したい

- テレビのデジタル音声出力端子を、本機のデジタル音声入力端子（COAXIAL、OPTICAL-1またはOPTICAL-2）に接続してから、本機の入力ソースを接続した端子（COAXIAL、OPTICAL-1またはOPTICAL-2）に切り替えてください（ [16ページ](#)）。
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニアPCMです。

テレビのヘッドホン端子の音質に満足できない

- テレビの音声を本機に入力し、本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してお楽しみください。
テレビのデジタル音声出力端子を、本機のデジタル音声入力端子（COAXIAL、OPTICAL-1またはOPTICAL-2）に接続してから、本機の入力ソースを接続した端子（COAXIAL、OPTICAL-1またはOPTICAL-2）に切り替えてください（ [16ページ](#)）。
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニアPCMです。

電力の消費をおさえない

- オートスタンバイモードをオンに設定してください（ [24ページ](#)）。
- 本機をしばらくご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でわかりにならない場合は、当社のお客さま相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	・コンセントへのACアダプターの差し込みを点検してください。	<u>14</u>
	・本機とACアダプターの接続を確認してください。	<u>14</u>
	・スタンバイモードになっています。電源ボタン (⏻) を押してください。	<u>16</u>
	・本機に付属のACアダプターをご使用ください。	<u>14</u>
電源が自動的に切れる。	・オートスタンバイモードがオンになっています。操作がない状態で約30分間経過すると、オートスタンバイモードが動作します。オートスタンバイモードを無効にするには、オートスタンバイモード中に電源ボタン (⏻) を5秒以上押してください。	<u>24</u>

■ 音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	13
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• アンプの入力ソースを確認し、本機を接続している端子に切り替えてください。	—
	• 適切な入力ソースが選択されているか確認してください。	16
	• ヘッドホン音量が最小になっています。音量レベルを適切に調節してください。	16

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
パソコンの曲の再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

■ パソコン内のファイルを再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	- ご使用のパソコンのOSを確認してください。 - ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーソフトのインストールが必要です。	<u>17</u> <u>17</u>
“Unlock” と表示される。	デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlock” を表示します。	<u>22</u>
“Unsupported” と表示される。	- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。 - ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。	<u>22</u> 、 <u>31</u> —

■ デジタル機器の音声を再生できない (COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2)

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
“Unlock” と表示される。	デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlock” を表示します。	<u>23</u>
“Unsupported” と表示される。	本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	<u>23</u> 、 <u>31</u>

■ 入力ソースが切り替わらない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
入力ソース切り替えスイッチ () をタッチしても、入力ソースが切り替わらない。	入力ソース切り替えスイッチ () を指で正しくタッチしてください。	<u>16</u>

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から1年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

再生できるデジタル音声入力信号の種類

USB-DACで再生できる入力信号

再生できる 入力信号の種類	入力信号の仕様
DSD (2チャンネル)	- サンプリング周波数：2.8224/5.6448MHz - ビット長：1bit - 伝送方式：ネイティブ/DoP
リニアPCM (2チャンネル)	- サンプリング周波数： 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz - ビット長：16/24bit

COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2 で再生できる入力信号

再生できる 入力信号の種類	入力信号の仕様
リニアPCM (2チャンネル)	- サンプリング周波数： 32/44.1/48/64/88.2/96/176.4/192kHz - ビット長：16/24bit

用語の解説

A

Advanced AL32 Processing

デノン独自のアナログ波形再現技術です。

16bitのデジタルデータを32bitに拡張することで微小信号の再現性を高めました。

D

DSD (Direct Stream Digital)

スーパーオーディオCDに採用されているデジタル音声記録技術です。原音にきわめて近い録音・再生を実現しており、高音質の音声を楽しめます。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数と呼び、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た行

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ら行

リニアPCM

圧縮していないPCM（Pulse Code Modulation）信号です。MP3などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

■ オーディオ特性

・アナログ出力

チャンネル：

再生周波数範囲：

再生周波数特性：

S/N比：

ダイナミックレンジ：

高調波歪率：

出力レベル：

サンプリング周波数：

[DSD 信号]

2チャンネル

2Hz～100kHz

2Hz～50kHz (−3dB)

112dB (可聴帯域)

105dB (可聴帯域)

0.0018% (1kHz、可聴帯域)

2.0V (10kΩ)

2.8224/5.6448MHz

[PCM 信号]

2チャンネル

2Hz～96kHz

2Hz～20kHz (±0.5dB)

112dB

105dB

0.0018% (1kHz)

2.0V (10kΩ)

32/44.1/48/64/88.2/96/

176.4/192kHz

・デジタル入力信号

フォーマット：

同軸入力：

光入力：

波長：

デジタルオーディオインターフェース (リニアPCM)

0.5Vp-p/75Ω

−27dBm以上

660nm

■ 総合

ACアダプター：

入力：100V、50/60Hz

出力：DC 15V、1A

*仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

索引

🔍 A

Advanced AL32 Processing 32

🔍 D

DSD 22、31、32

🔍 お

オートスタンバイ 24

音量の調節 16

🔍 こ

故障かな？と思ったら 27

こんなときの解決方法 26

🔍 さ

再生

デジタル機器 23

パソコン (USB-DAC) 17

サンプリング周波数 32

🔍 せ

接続

ACアダプター 14

CDプレーヤー 13

アンプ 13

衛星放送チューナー 13

テレビ 13

パソコン 13

接続に使用するケーブル 10

🔍 た

ダイナミックレンジ 32

縦置き用スタンド 12

🔍 て

ディスプレイ 8

電源を入れる 16

🔍 と

ドライバソフトのインストール 17

🔍 に

入力ソースの選択 16

🔍 は

パソコン 17

🔍 ふ

付属品 5

プレーヤーソフト 17

フロントパネル 7

🔍 へ

ヘッドホン 16

🔍 ほ

保証と修理について 30

🔍 よ

横置き用フット 11

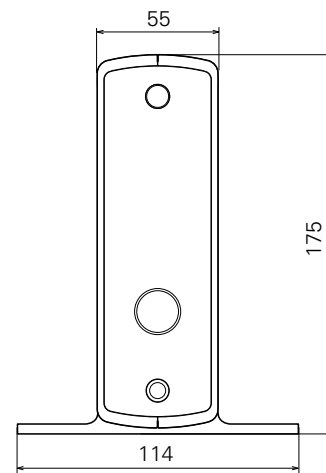
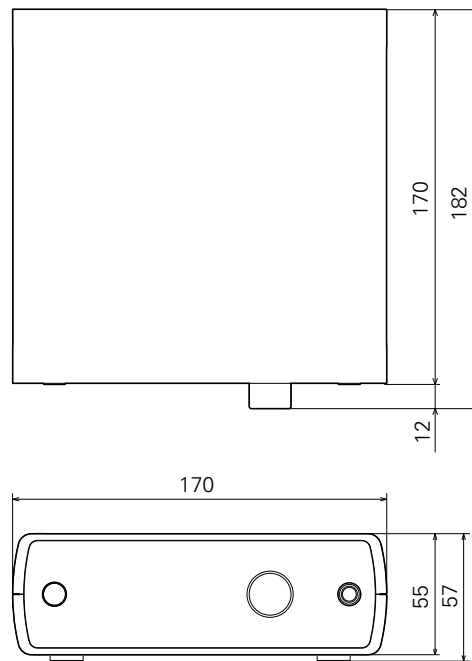
🔍 り

リアパネル 9

リニアPCM 22、23、31、32

■ 寸法

単位：mm



■ 質量：1.5kg

DENON

デノンお客様相談センター

 **0570 (666) 112**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (- -)
ご購入年月日:	年 月 日

株式会社 ディーアンドエムホールディングス